

<b>【大学間協定留学】 留学報告書</b>
------------------------

記入日：2022年9月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California, Berkeley
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	4年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	4年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月13日
明治大学卒業予定年	2023年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：          2学期：          3学期：          4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	45,057人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (USドル)	円	備考
授業料	7,353	872,200円	12単位分
宿舍費		円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態：
渡航旅費		円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>7,353</b>	<b>872,200円</b>	

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>		
往路 出発地：	目的地：	経由地：
復路 出発地：	目的地：	経由地：
<b>渡航費用</b>		
①往復チケットを購入した場合 航空会社：_____		
料金：_____		
②片道ずつチケットを購入した場合		
往路 航空会社：	料金：	
復路 航空会社：	料金：	∴合計：_____
<b>航空券購入方法</b>		
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名：_____）		
<input type="checkbox"/> インターネット（サイト名：_____）		
<input type="checkbox"/> その他（_____）		

## 滞在形態関連

<b>1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）</b>		
<input type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：_____）		
<input type="checkbox"/> アパート		
<input type="checkbox"/> ホームステイ		
<b>2) 部屋の形態</b>		
<input type="checkbox"/> 個室		
<input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 _____）		
<b>3) 共有部分</b>		
<input type="checkbox"/> バス		
<input type="checkbox"/> トイレ		
<input type="checkbox"/> キッチン（ <input type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可）		
<b>4) 住居を探した方法：</b>		
_____		
<b>5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）</b>		
_____		

## 現地情報

<b>1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）</b>		
<input type="checkbox"/> なし		
<input type="checkbox"/> あり（治療を受けた場所：_____）		
<b>2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）</b>		
<input type="checkbox"/> なし		
<input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等：_____）		
<b>3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？</b>		
_____		
<b>4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）</b>		
_____		
<b>5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）</b>		
_____		
<b>6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。</b>		
_____		
<b>7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。（例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。）</b>		
_____		

### 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 ( ) ・履修の制限はありましたか？ 特になし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Special Topics in American Politics —The Politics of Public Policy (PS 109B)	アメリカ政治学の特別講義—公共政策の政治学
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	Session A (May 23 2022 – Jul 01 2022)
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	オンデマンド（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 160 分が 3 回
担当教授	David Broockman
授業内容	<p>利益団体、世論の圧力、政党、有権者など、公共政策を形成する政治的勢力を理解し、自分や他者が実際にどのように政府に影響を与えられるのか、その手段をフレームワークや実例を通して理解する。理想的な公共政策がどうあるべきかを考えるのではなく、なぜ政府がそのような政策をとるのかを考えることがメイン。</p> <p>非同期式の講義とディスカッションのみのオンラインクラス。講義の時間は決まっていないため、録画された講義の視聴を含め、自分のスケジュールに合わせて教材に取り組む。</p>
試験・課題など	<p>成績評価基準は以下の通り。</p> <p>①Participation: Weekly discussion forum posts 20% 週 1 回、計 6 回のグループディスカッションフォーラムに参加し、ディスカッションのトピックについて考察的、批判的な文章(300–600 words)を投稿する。</p> <p>②Participation: Comment on your peers' discussion forum posts 5%</p> <p>③Participation: Close reading assignments 5% 共同精読課題。提示された論文を（非同期で）クラスメイトと一緒に注釈をつけたり質問をし合う。</p> <p>④Check-Your-Understanding quizzes 5% リーディングや講義で取り上げられた重要な概念を学習しているかを確認する簡単な小テスト。</p> <p>⑤Attendance at two synchronous office hours sessions 5%</p> <p>⑥Paper 25% 授業で学んだ公共政策立案の理論のうち少なくとも 3 つを、現在または最近の公共政策問題に適用しレポートを書く。ダブルスペースで 8 ページ以上（実際に書いてみると 3,200words 程度）。</p> <p>⑦Final Exam 35% 試験は完全なオープンノート。ノートや bCourses、リーディングの内容などを参照可能。形式は、I まず 60 分間で、20 問の選択式問題に解答。II（試験期間中の 24 時間以内であれば）時間無制限で記述式問題（短答式問題 4 問とエッセイ 1 問）に解答。</p>
感想を自由記入	<p>今回取った 3 つの中では一番面白くおすすめの授業。アメリカの政策決定のプロセスや、政治制度について踏み込んだ内容で、民主主義における政策決定が必ずしも合理的ではなく、社会にとっての最善を実現させることの難しさを理解できるようになった。私自身の専攻は経営学であり、政治学の知識（特にアメリカのもの）はほとんどない状態で受けたが、授業内ではアメリカの各政治制度についての掘り下げた説明やディスカッションがあり、基本的な知識を補うことができた。しかし実際の政策分析のフェーズでは、問題の背景を理解するためのリサーチにかなり時間を割く必要があったので、慣れないうちは負担に感じた。特筆すべきコンテンツとして、ほぼ毎週、授業で取り扱う理論に関係する論文を読むことになるのだが、たまにその論文の筆者と Broockman 教授の対談動画も併せて投稿されていた。より論文の内容や研究背景への理解を深めることができる、Berkeley ならではの贅沢な教材だったと思う。</p>

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Political Psychology and Involvement (PS W164)	政治心理学と参画
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	Session C (Jun 21 2022 - Aug 12 2022)
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	オンデマンド（チュートリアル，講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が3回
担当教授	David Broockman
授業内容	性格、認知、社会的影響、アイデンティティに関する心理学理論を応用し、世論や政治的行動の要因を探っていく。主にアメリカ合衆国の政治と社会における応用がメインだが、他の国の例も取り上げている。 非同期式の講義とディスカッションのみのオンラインクラス。講義の時間は決まっていないため、録画された講義の視聴を含め、自分のスケジュールに合わせて教材に取り組む。
試験・課題など	成績評価基準は以下の通り。 ①Participation 15% ・ Discussion Forum Assignments ・ Check-Your-Understanding Quizzes ②Midterm Exam 25% 4週目に、1～4週で扱った内容をカバーする試験がある。試験は完全なオープンノート。形式は、I まず30分間で、15問の選択式問題に解答。II（試験期間中の24時間以内であれば）時間無制限で記述式問題（エッセイ2問）に解答。 ③Mandatory Synchronous Office Hours Attendance (20min×2) 5% ④Paper Assignment 30% クラスで学んだ政治心理学の知識に基づき、大手政治団体のコンサルタントとして、どのような戦術を採用すべきかをクライアントにアドバイスするエッセイを書く。ダブルスペースで7ページ以上（実際に書いてみると1,700words程度）。 ⑤Final Exam 25% 試験は完全なオープンノート。5～8週の内容がほとんどだが、1～4週目の内容も一部出題。形式は、I まず45分間で、20問の選択式問題に解答。II（試験期間中の24時間以内であれば）時間無制限で記述式問題（短答式問題4問とエッセイ1問）に解答。
感想を自由記入	非常に面白かった。PS 109Bよりは心理学の内容がベースになっているが、人々が何を信じ、どのように投票し、なぜ残虐行為に加担するのか、等々は政治的行動との関係が深く、具体的にはアメリカの政治的な分極化が進行する理由と白人アイデンティティの政治への理解を深めることができる内容だった。私自身が一時期行動経済学をかじっていたこともあり、日常生活におけるヒューリスティックやバイアスについての話は特に面白く感じた。 こちらの講義にも論文の筆者とBroockman教授の対談動画があり、PS 109Bよりも投稿頻度が多かった（授業の内容が心理学理論ベースだった分、政治的ケーススタディの掘り下げの割合を増やしたのかと思われる）。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Introduction to Media Studies		メディア研究入門	
科目設置学部・研究科	Media Studies		
履修期間	Session C (Jun 21 2022 - Aug 12 2022)		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	オンデマンド（チュートリアル、講義形式等）		
授業時間数	1週間に60分が2回		
担当教授	Josh Jackson		
授業内容	<p>メディアのシステムと慣習が社会と個人の両レベルに与える影響について、重要な視点と研究方法を紹介し、メディアの産業的・文化的機能についての知識を深める。メディアの社会的、経済的、政治的な意義を考えるために、メディアの生産、形態、受容、影響を理解するための様々な方法を調査し、これらのアプローチが互いにどのように関係しているかを認識し、様々なケーススタディを幅広く行う。</p> <p>非同期式の講義とディスカッションのみのオンラインクラス。講義の時間は決まっていないため、録画された講義の視聴を含め、自分のスケジュールに合わせて教材に取り組む。</p>		
試験・課題など	<p>成績評価基準は以下の通り。</p> <p>①Discussion Participation: 10% 毎週授業のテーマに関連した課題に対して考察的・批判的に論じる（200words）。その後、複数のクラスメイトの投稿に対して返信をする（75words）。</p> <p>②Weekly Quizzes: 20% 制限時間 15 分間の小テストで、多肢選択式と真偽判定式。リーディング、講義、および補足ビデオ教材から出題。</p> <p>③Research Essay #1: 20% ④Research Essay #2: 20% 各 5 ページのエッセイを提出。</p> <p>⑤Final Exam: 20% 試験はクローズドノートで、多肢選択問題と記述問題の組み合わせ。</p>		
感想を自由記入	<p>面白かった。メディアの役割やリテラシーから始まり、特定のメディアに関するトピック、例えばジャンルやビデオゲーム、Web2.0 など様々な分野を掘り下げていく授業スタイルで、メディアについて多角的な視点を得られる内容だった。特にディスカッションスレッドはクラス全員（112名）が参加するスタイルだったため、色々な意見を目にする事ができ、また返信も何件もつくので、とても刺激的だった。メディアの議論・分析対象としてはアメリカのメディアコンテンツが中心なので、アメリカの音楽やセレブリティ、テレビ番組に親しんでいる人はより楽しめる授業だと思う。</p>		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
Offerbox, ワンキャリア, Goodfind
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
日系マーケ職
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
自分の場合は留学中・留学後に就活の心配をしなくなかったため、3年次で就活を終わらせてから4年次で留学すると決めていた。3年12月に自分の満足のいく会社から内定を貰ったため、4年の留学直前や留学中は勉強に専念でき良かったと思う。余談だが、単位数の不安もなくしておきたかったため、3年秋季学期までで140単位を修得しておいた。先にやれることはやっておくと時間的余裕ができ、精神的余裕にもつながる。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEIC IP 870
留学開始年	1月～3月	長期インターンシップ（3月～2022年2月）
	4月～7月	就活開始
	8月～9月	
	10月～12月	IELTS Overall 6.5 サマーセッション カリフォルニア大学バークレー校 出願
留学/帰国年	1月～3月	就活終了
	4月～7月	サマーセッション カリフォルニア大学バークレー校 参加
	8月～9月	同上
	10月～12月	

**留学体験記**

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由は、海外の大学で経営学やマーケティングの授業を受けたいと考えており、Haas School of Businessに惹かれたためである。過去（1年次）には経営学部のISIBMプログラムに参加したが、その時は英語力が足りずキャッチアップにかなり苦戦したため、英語力を上げてもう一度留学したいと思っていた。

実際取った授業は自分の専攻とあまり関係のないものになってしまったが、これはオンラインだと授業の種類がかなり限られており、経営学系で興味のある授業がなかったからだ。結果的にはどの授業も面白く、自分の知識がない分野だからこそ新鮮に学ぶことができたので、むしろ専攻外の授業を取って大正解だった。とはいえ、事前知識が無くても支障がなかったのは、何度も視聴できたり、テキストでやり取りできるオンラインだったからで、対面授業であればその分野のベースがある程度無いと厳しいと思う。

また、私の場合は非同期型なのを活かして複数の授業をブッキングさせていたので、課題や受講するビデオの優先順位をつけ、しっかりスケジュール管理することを心がけていた。